

UNG (University なんでもねん Group)

自立（律）した学生が育つ 大学づくり

背景

× 各大学での問題点

- + 履修登録しない。
- + 手続きの締切を守らない。
- + 情報提供しても伝わらない。
- + 情報共有できていない。



受け身になり主体性がなくなっている。
= 自立（律）できていない。

課題提起

- 自立（律）した学生が育つには？
- 学生をどうフォローするか？
- 教職学（三位一体）協働での取り組みができないか？

*教職学：教員、職員、学生

討議内容

× 自立（律）した学生とは？

- + アイデンティティがある。
- + チャレンジ精神がある。
- + コミュニケーションができる。
- + 能動的に学生生活を過ごす。
- + 必要な情報を取ることができる。
- + ルール、モラルを守ることができる。

提案（A）

× キャリア形成科目の設置

- + 1、2年生は必修科目にする。
 - × ディスカッション
 - × プレゼン
 - × 自分たちで授業をつくる

- + 3、4年生は選択科目とする。
 - × 総仕上げ

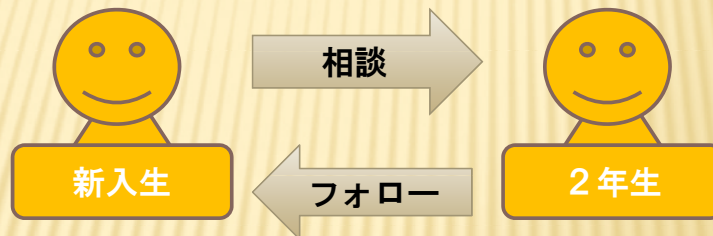
- × メリット
 - + 強制力がある。
- × デメリット
 - + 単位の修得が目的になる可能性がある。
 - + 教員が必然的に介入することになる。

主体的な学生が育つのか？

提案（B）

× OCT (On College Training) 制度の導入

- + 新入生に2年生をメンター（世話役）として指定。
- + 3年生は2年生、4年生は3年生のメンター。



- + 学籍番号順に区切る（10人ずつでグループ）
- + 集合：
新入生オリエンテーションの日（第1回目）
月1回の昼休み

目的

- × 学生と教職員とのコミュニティ創造
- × 自分の行動に対する責任感
- × モチベーションづくり

具体例・実行計画

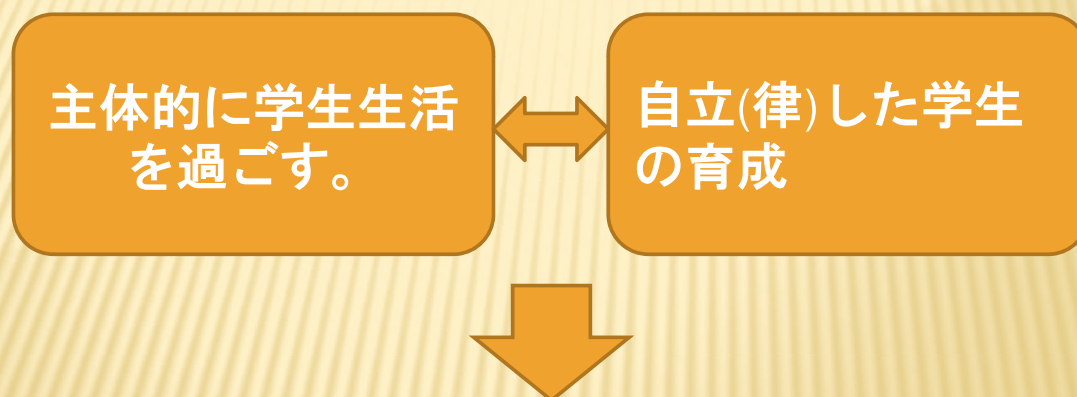
- × 上級生による支援計画書、報告書の作成
- × OB/OG座談会
- × アツい話しかしない会
- × グループディスカッション
- × 教職員の参加
- × 問題対策：駆け込み寺（教職員がフォロー）

成果・結果の評価～フィードバック

- × 学年終了時にOCTに対するアンケート
- × 単位修得率アップ
- × 留年、退学率ダウン
- × 自己分析（自己認識を深める）
- × 教職員からのフィードバック

まとめ

× 教職学（三位一体）協働の実現



× ブランド、価値、競争力アップ

ご清聴ありがとうございました。

UNG（University なんてやねん Group）

自立（律）した学生が育つ
大学づくり